

多要素認証設定マニュアル（学生用）

4 – Outlook等のメールソフトを使う場合

Outlook等のメールソフトを使う場合

★ 初回（多要素認証を初めて利用するとき）の使用開始時の設定

ウェブブラウザではなく、多要素認証非対応のメールソフト（Outlook、Thunderbird、Apple Mail等）を利用してOffice365にアクセスしてメールの送受信を行う場合は、通常のパスワード（Office365にウェブブラウザでサインインするときのパスワード）ではなく、「**アプリケーションパスワード（アプリパスワードと表示される場合もあります）**」という専用のパスワードを利用します。そして、この「**アプリケーションパスワード（アプリパスワード）**」を入手するには、多要素認証の設定が必要となります。

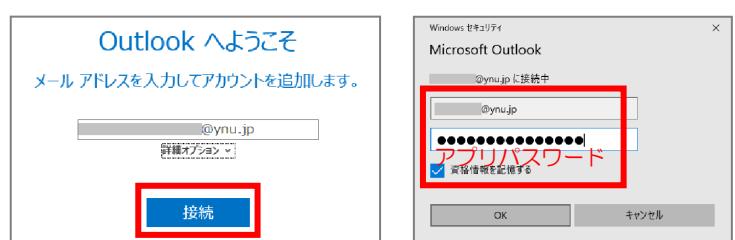


1. 事前準備で選んだ多要素認証の方法のマニュアルに従って、多要素認証の設定を開始します。
2. 設定を進めていくと、どの方法でも、最後に、『追加のセキュリティ確認』において、
ステップ4：既存のアプリケーションを引き続き利用する
という画面が表示されます。この画面の中に「**アプリケーションパスワード（アプリパスワードと表示される場合もあります）**」が表示されます。このアプリパスワードを、スクリーンショットをとるか、あるいはメモするなどして大事に保管します。
3. 多要素認証の設定を完了します。

★ メールソフト側の初回設定

Outlook、Thunderbird、Apple Mail等のメールソフト（多要素認証が取り扱えないアプリケーションソフト）の設定の際、初回設定で、取得した「**アプリケーションパスワード**」を利用して、メールの送受信を行います。

Outlookでの設定例

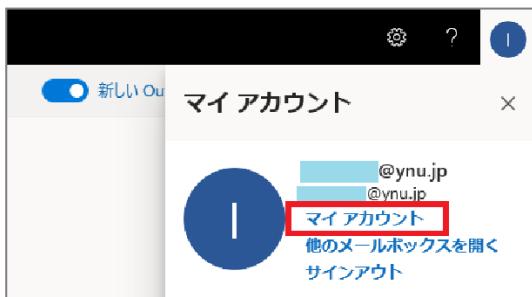


【参考情報】

キャンパス情報ネットワーク内（ただし、eduroamを除く）からOffice365に接続する場合のみ、「**アプリケーションパスワード**」と「**通常のパスワード**（Office365にウェブブラウザでサインインするときのパスワード）」のどちらのパスワードでも、メールの送受信を行えます。

★ アプリケーションパスワードを初期化する方法

アプリケーションパスワードを忘れてしまった場合、あるいは、使用中のアプリケーションパスワードを変更したい場合は、以下の方法でアプリケーションパスワードを初期化できます。



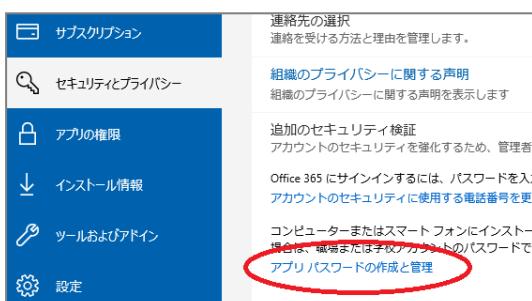
1. Office365にウェブベースでサインインし、右上の「?マーク」の右隣のアイコンをクリックし、「マイアカウント」をクリックします。



2. 「セキュリティとプライバシーの管理」をクリックします。



3. 「追加のセキュリティ検証」をクリックします。



4. 「アプリパスワードの作成と管理」をクリックします。

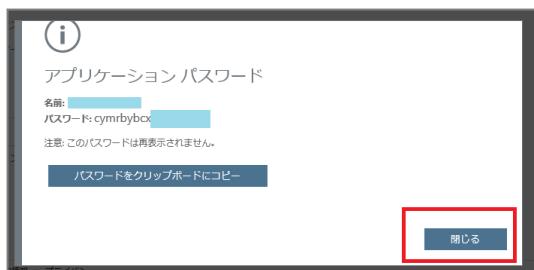
4- Outlook等のメールソフトを使う場合



5. 「作成」をクリックします。



6. 「アプリケーションパスワードの作成」というメッセージが表示されるので、適当な名前（何でも構いません）を入力し、「次へ」をクリックします。



7. 新しいアプリケーションパスワードが生成され、画面に表示されるので、スクリーンショットをとるか、あるいはメモします。最後に「閉じる」をクリックします。



8. 「追加のセキュリティ確認」の画面に戻りますので、初期化前に登録されていた古いアプリケーションパスワードを削除します。

以上で完了です。